



みなさんと日本盲導犬協会を結ぶ会報です

盲導犬くらぶ

公益財団法人 日本盲導犬協会
発行人 金高 雅仁
223-0056 横浜市港北区
新吉田町6001-9
TEL.045-590-1595
FAX.045-590-1599
<https://www.moudouken.net/>

気づきを、動きへ。



盲導犬、 みいつけた!

あ! 病院でも、ちゃんと足元で待ってるね。
タクシーでは、座席には座らないんだって。
カフェにも! おうちでブラッシングして抜け毛にも気をつけているみたい。
宿泊先でも、いっしょに居られて安心だね。
盲導犬がいろんな場所にあたりまえにいるって、いいですね。

盲導犬の受け入れを、あたりまえに。



病院



飲食店



タクシー



宿泊施設



目の見えにくい人、見えにくい人が、行きたい所に、行きたい場所へ
私たちは盲導犬を派遣で導いていきます。
公益財団法人
日本盲導犬協会
盲導犬 検索 0800-100-3911
www.moudouken.net 国土交通省登録(18-058-17-60)

ACジャパンによる支援キャンペーン広告「盲導犬、みいつけた！」が7月1日からスタートしました。今回は俳優の永尾柚乃さんが登場。街のあちこちで盲導犬を見つけ、新しい発見をしていく様子が描かれています。盲導犬がいっそう社会に溶け込んでほしい、広告にはそんな願いが込められています

TOPICS!

主なできごとの中からピックアップ

盲導犬が「あたりまえにいる」社会を目指して ACジャパンによる支援キャンペーン広告スタート

AC ジャパンによる支援キャンペーン広告「盲導犬、みいつけた！」が7月1日からスタートしました。4年ぶり通算7回目となる今回は、病院やタクシー、カフェ、宿泊先などさまざまな場所で、盲導犬がユーザーと一緒に自然に過ごす姿が描かれています。

広告に起用されたのは俳優の永尾祐乃さん。街のいろいろな場所で盲導犬を見つけては、盲導犬が病院でもユーザーと一緒にいること、タクシーの座席には座らないこと、家庭でのブラッシングで抜け毛に配慮していることなど、発見を重ねていくストーリーです。テレビCMやインターネット上の

動画では、永尾さんが「盲導犬がいろんな場所に、あたりまえにいて、いいですね」と語るシーンが印象的です。

盲導犬が自然に受け入れられる社会となるようにと制作されたこの広告は、テレビやラジオ、新聞、駅や電車の中吊り広告など、さまざまな媒体で発信されます。

盲導犬の生活のひとコマを知ってもらうことで、より多くの方が盲導犬を身近に感じ、安心して受け入れが進むよう、協会も期待しています。



詳細はこちらから

日本盲導犬協会の歩み

- 4月17日..... 第1回常任理事会
- 5月16日..... 第2回常任理事会
- 5月26日..... 第1回理事会
- 6月12日..... 第1回評議員会
- 6月..... 第3回常任理事会(書面報告のみ)



4月23日 北里大学メデイカルセンターで動物介在療法に携わっていたPR犬ヨギが引退。同センター職員、協会飼育ボランティアと記念撮影



5月7日 広島県府中市の小野申人市長をユーザーと表敬訪問。音響式信号機の増設と盲導犬やユーザーへの理解促進をお願いしました



6月11日 仙台市障害者総合支援センターで「見えない・見えにくい方のテクノロジーを使った歩行講習会」開催。9人が参加して先進機器を体験

4月19日~21日 毎日新聞社と「ビジョン・コンソーシアム」※が大阪・関西万博で開催したイベントで、協会がデモンストレーションを実施



各センター活動報告(4月~6月)

(2025年6月30日現在)

	神奈川訓練センター	仙台訓練センター	富士ハーネス	島根あさひ訓練センター	
訓練・視覚障害サポート	共同訓練	4回	4回	2回	1回
	パピーレクチャー	24回	6回	8回	2回
	パピーウォーキング修了式	1回	1回	1回	1回
	ユーザーフォローアップ	59回	22回	16回	41回
	盲導犬説明会/盲導犬体験歩行会	10回	6回	4回	2回
リハビリテーション	各種オンラインセミナー		5回		
	短期リハビリテーション	0回	1回	0回	0回
普及推進活動	その他リハビリテーション	86回(91人)	230回(210人)	49回(43人)	35回(22人)
	受け入れセミナー	8回	0回	14回	3回
普及推進活動	小・中学生向け実演	6回	11回	5回	14回
	一般向け実演・贈呈式・募金活動等	26回	16回	10回	22回

日本ロービジョン学会学術総会でセミナーを実施 ~医療従事者と連携して視覚障害者に支援を届ける

5月23日より3日間、広島国際会議場にて第26回日本ロービジョン学会学術総会が開かれ、協会がランチョンセミナーを実施しました。3日間の来場者は約700人、医療従事者ら136人が協会のセミナーを聴講しました。

日本ロービジョン学会は、ロービジョン*の人々を支え、適切な支援を受けられるよう眼科医らが2000年に立ち上げた団体で、その学術総会に協会が参加するのは2023年以來3回目です。盲導犬や白杖を使った歩行方法があることを眼科医らに周知し、視覚障害者への情報提供がスムーズになることを協会が目指しています。

開催地の広島では駅周辺の再開発が進み、視覚障害者の安全な駅利用への関心が高まっていることから、セミナーでは「視覚障害者が安心して外出できる社会に向けて~公共交通事業者との取り組み~」をテーマに、これまで協会が鉄道会社と取り組んできた講習会の内容を紹介しました。視覚障害者が安全な鉄道利用方法を知ること、外出の不安が軽

減されることを報告。協会がさまざまな業界、事業者と連携して広く視覚障害者支援を展開する意義を語りました。

そのほか盲導犬歩行や視覚障害者への対応方法も解説し、聴講した眼科医や視能訓練士からは「今まで盲導犬を知る機会がなく、とてもためになった」と反響が寄せられました。

*ロービジョン(low vision): 病気や事故等で目が見えにくくなり生活がしづらくなった状態のこと



セミナー会場隣のブースでは視覚障害者のための便利グッズも紹介。盲導犬の歩行体験には40人が参加しました。セミナーでは、盲導犬の歩行方法のほか、ユーザーへの声かけや誘導の方法なども実演を交え紹介



富士ハーネスでGW特別イベントを開催 見て、知って、体験して。楽しい企画が満載

日本盲導犬総合センター(盲導犬の里 富士ハーネス)で、5月4日にGW特別イベント「富士ハーネス うえるカ〜ムDay! ~パピーウォーカーと一緒に子犬の社会化体験~」を開催しました。誰でも気軽に参加してほしいという思いで企画したこのイベントには、最寄り駅と会場をつなぐ送迎バスを導入し、411人が来場しました。

協会の事業を伝える特別デモンストレーションでは、2つのテーマで

子犬の社会化体験の様子。パピーウォーカーがパピーに声をかけ、安心感を与えながら実施。参加者からは「実際に体験することで育成現場を実感できました」との声が聞かれました



画を実施しました。1つ目は、協会の盲導犬訓練士とケネルスタッフについて。普段の訓練の様子や盲導犬の一生を、写真や動画も交えて話しました。2つ目は、ボランティアについてです。パピーウォーカーが預かっているパピーと一緒に参加し、日頃から行っているパピーの社会化について紹介しました。その後の社会化体験では、来場者がパピーの前でキャリーケースを引いて横切ったり、掃除機を動かしてみたりして、日常生活で起こりうる刺激を再現。職員がパピーの行動や表情の変化を解説しました。

そのほか視覚障害者へ向けた歩行体験会や職員による施設ガイドツアー、親子犬特別写真展など、見て、知って、体験できる企画が盛りだくさん。イベントを通して、安定的な盲導犬育成に欠かせないボランティアの存在を知ってもらおうと同時に、多くの方に育成への参加を呼びかける機会にもなりました。

メディア掲載件数

テレビ・ラジオ	19回
新聞	48回
WEB	50回
その他(雑誌など)	28回

主な放送・掲載

- 4月6・13・20・27日... KSB瀬戸内海放送「with盲導犬」 島根あさひ訓練センター主催の盲導犬新ユニット出発式を紹介。ユーザーや支援者の声も
- 4月10日... 点字毎日 視覚障害者が楽しめる旅を紹介する誌面企画で「盲導犬ユーザー受け入れ接客セミナー」を取り上げて紹介
- 4月20日... 毎日新聞、WEB1件 大阪・関西万博「点字考案200年 視覚障害者の世界を体験する」でのユーザーと職員登壇の模様を掲載
- 4月26・27日... 静岡朝日テレビ、新聞1紙、WEB2件 トヨタカローラ静岡による富士ハーネスへの寄付金贈呈の模様を紹介
- 5月5・6・9日... 東京新聞他4紙、WEB1件 富士ハーネスで開催したGW特別イベントで、来場者が訓練士の仕事やPWの役割を学ぶ様子を紹介
- 5月8日... 中国新聞他1紙、WEB2件、SNS1件 ユーザー高橋さん&スバルと職員が、広島県府中市長を表見訪問した様子を掲載
- 5月14・15・17日... 山形放送、新聞2紙、WEB1件 JPL山形駅で開催した「見えない・見えにくい方の安全な鉄道利用のための歩行講習会」を紹介
- 5月29日... 上毛新聞 群馬県立盲学校が児童向けに実施した盲導犬体験歩行会に協力。当日の模様を掲載
- 6月3日... 福祉新聞 協会が監修した子供向け書籍「盲導犬大百科」(ポプラ社)の紹介記事を掲載

*協会ホームページにも毎月の放送・掲載情報を公開しています。順次更新しますのでご覧ください。

2024年度 事業報告・決算報告

盲導犬育成事業

- 1 視覚障害者への歩行指導と盲導犬貸与**
 - 33頭の盲導犬を育成し、35ユニットの視覚障害者に対する歩行指導及び盲導犬の貸与を実施。内訳は神奈川訓練センター18頭19ユニット、仙台訓練センター（=スマイルワン仙台）7頭8ユニット、日本盲導犬総合センター（=富士ハーネス）6頭6ユニット、島根あさひ訓練センター2頭2ユニット。代替が30ユニット、新規が5ユニット
- 2 犬の飼育及び訓練**
 - 候補犬171頭を訓練し、入所は99頭
 - 新たに雄1頭及び雌7頭を繁殖犬として登録。3月末現在で雄15頭、雌27頭の繁殖犬を保有
 - 80頭をパピーウォーカーに委託
 - 訓練センターでのパピーレクチャーは152日、193回実施
 - 島根あさひ盲導犬パピープロジェクトは3頭実施
 - 44頭46ユニットの盲導犬が引退あるいはユニットを解消
 - 獣医師と連携し、病気の原因究明や早期治療に努めた
- 3 盲導犬ユーザーへのフォローアップ(FU)**
 - 定期FUを293回実施。問題解決、健康相談などの非定期FUを74回実施
 - 出発式を4拠点で開催
- 4 盲導犬訓練技術・育成技術の向上**
 - 協会の訓練士資格制度に基づいて審査会を実施、訓練技術向上と訓練士育成を図った
- 5 各種研修会等への参加**
 - 全国盲導犬施設連合会主催の研修会他、各種研修会に積極的に参加
- 6 施設整備**
 - 神奈川訓練センターの犬舎増改築が完了。広島訓練センター（仮称）の開設準備を進めた

盲導犬歩行指導員等育成事業

- 全国盲導犬施設連合会認定資格の盲導犬訓練士に2名が認定

調査研究事業

- 1 繁殖研究**
 - 凍結精液の作製、皮膚疾患の発症を減らすための指標作り、繁殖犬の選抜・交配のためのデータ収集などを実施
- 2 研究協力**
 - 盲導犬の合格率向上、健康改善のため東京大学の研究に継続して協力

視覚障害支援事業

- 1 盲導犬歩行についての理解促進**
 - 集客型盲導犬体験歩行会67回、個別対応型盲導犬体験歩行会17回を開催し、合計490名が参加
 - 盲導犬説明会を13回、当事者向け盲導犬情報

- セミナーを4回開催
- 2 ユーザーコミュニケーション**
 - 盲導犬ユーザーへの定期聞き取り調査を実施
 - 盲導犬6歳時コミュニケーション会を開催、22ユニットが参加
 - 視覚障害者向けに『パートナーズ』と『盲導犬ユーザー通信』を発行
- 3 視覚障害者在宅生活訓練(白杖歩行訓練等)**
 - 延べ692名に対し1,177コマの訓練を実施
- 4 視覚障害リハビリテーション相談**
 - 延べ536名に対し630回の相談対応
- 5 短期視覚障害リハビリテーション訓練**
 - 7回実施、20名参加
- 6 視覚障害児キャンプ**
 - スマイルワン仙台で実施、7家族の参加
- 7 各種講習会の開催**
- 8 関係団体との連携**
 - 行政職員向け盲導犬情報セミナーを3回開催
 - 慶應義塾大学病院眼科との共同研究の場として開設された「ロービジョンケア・ハブ」で患者や当事者その家族など225名の相談に対応
 - 大学病院等におけるロービジョン外来に職員を派遣

広報・普及推進事業

- 1 盲導犬や視覚障害の理解促進活動**
 - 事業者向けに視覚障害者サポート・盲導犬受け入れセミナーを131回、首長訪問を12回実施
 - 一般市民向けに盲導犬や補助犬法の理解促進のための実演・講演を185回、企業・団体への感謝状等贈呈式を82回、商業施設活動を59回、街頭での理解促進活動を117回実施
 - 富士ハーネスで盲導犬デモンストレーションを423回実施
- 2 若年層への教育活動**
 - 盲導犬小中学校キャラバンを330回実施
 - 教科書や教材への情報提供を実施
- 3 アドボカシー活動**
 - 盲導犬ユーザーから受け入れ拒否の相談を受け、61件に対応
- 4 広報活動**
 - メディアリリースを38回配信。メディア掲載回数は1,119回
 - 会報誌「盲導犬くらぶ」を年4回、計174,740部発行、音声CD版1,328部を発行
 - SNS、ブログ、ホームページを運営
 - 盲導犬や視覚障害の理解に関する意識調査を初実施

国際事業

- 当協会以外の盲導犬認定としてフランスからの盲導犬1頭を認定。海外補助犬使用者期間限定証明書を3ユニットに発行
- 職員が国際盲導犬連盟 (IGDF) の理事及び査察官、教育委員を務めた
- IGDFの査察を受け、基準に合格
- アメリカのニューヨークへ職員1名を研修派遣

2024年度決算 (単位:円)

科目	2024年度	2023年度
I 一般正味財産増減の部		
1 経常増減の部		
(1) 経常収益		
基本財産等運用益	29,160,865	32,651,238
受取会費	251,235,959	255,165,911
事業収益	38,258,877	34,573,350
受取補助金等	18,992,000	15,811,419
受取寄付金	962,065,580	706,134,925
雑収益	371,481	141,555
指定正味財産からの振替額	132,140,220	342,451,175
経常収益計	1,432,224,982	1,386,929,573
(2) 経常費用		
盲導犬育成事業費	517,077,983	498,045,778
盲導犬歩行指導員等育成事業費	18,960,466	31,107,795
調査研究事業費	16,641,190	23,278,386
視覚障害支援事業費	96,083,404	87,944,883
広報・普及推進事業費	234,913,045	215,946,973
国際事業費	8,523,085	18,396,767
訓練センター管理費	241,270,688	161,243,627
事業共通費(減価償却費等)	81,071,989	73,746,173
公益目的事業費計	1,214,541,850	1,109,710,382
法人管理費	216,280,673	277,219,191
経常費用計	1,430,822,523	1,386,929,573
当期経常増減額	1,402,459	0
2 経常外増減の部		
当期経常外増減額	△ 3,601,792	18,263,752
当期一般正味財産増減額	△ 2,199,333	18,263,752
一般正味財産期首残高	3,125,684,224	3,107,420,472
一般正味財産期末残高	3,123,484,891	3,125,684,224
II 指定正味財産増減の部		
基本財産等運用益	2,837,000	1,464,184
受取寄付金	491,152,262	1,114,865,369
特定資産評価損益	13,017,428	19,438,154
一般正味財産への振替額	△ 132,140,220	△ 342,451,175
当期指定正味財産増減額	374,866,470	793,316,532
指定正味財産期首残高	7,212,209,249	6,418,892,717
指定正味財産期末残高	7,587,075,719	7,212,209,249
III 正味財産期末残高	10,710,560,610	10,337,893,473

関係団体協力事業

- 日本盲導犬協会ユーザーの会、ボランティア委員会への協力
- 全国盲導犬施設連合会、全日本盲導犬使用者の会、アジア・ガイドドッグ・ブリーディング・ネットワークなどへの協力
- 視覚障害リハビリテーション協会、日本介助犬協会、日本身体障害者補助犬学会などへの協力
- 眼科医等への情報発信のため、日本ロービジョン学会学術大会に出展しセミナーを実施

助成事業

- 白杖等の歩行訓練事業への助成金として、8団体に対して総額666万円の交付を決定

その他

- 1 中長期計画の推進**
 - 訓練士養成システムに沿った取り組み、繁殖犬確保へ向けた国際戦略の強化、広島訓練センター（仮称）の設計等を進めた
 - コミュニティセンター構想の一環として、慶應義塾大学病院内で早期相談支援を実施。支援が及ぼす効果測定について共同研究を進めた
- 2 人材育成**
 - 職員研究発表大会を開催。獣医療・産科研修に獣医療関係職員5名が参加。愛玩動物看護師国家資格に2名合格
- 3 協会ICTインフラの整備と活用**
 - 業務効率化へ向け、情報管理の一元化やAI環境整備等を進めた



引退犬のいる楽しく幸せな日々 絆が深まり家族の笑顔の中心に

神奈川訓練センター 引退犬飼育ボランティア・橋之口さん一家 (神奈川県川崎市)



た また見たテレビ番組で引退犬ボランティアの存在を知ったという橋之口里江子さん。ちょうど子育てが落ち着いて犬を飼いたいと考えていたところで「こういう選択肢もあるんだ」と、すぐに日本盲導犬協会のホームページを検索しました。引退犬を迎えたあとの生活を、家族と相談しながらシミュレーションしたうえでボランティアに登録。「大型犬を飼ったことがあり、中でもラブラドルが大好きで。受け入れることにまったく迷いはありませんでした」

1 頭目の引退犬カリテはこだわりの強い性格で、はじめはなかなか心を開いてくれなかったそうです。リードを着けて外に出ても散歩をする気がなく、排泄だけして帰る日々。ユーザーとカリテが過ごした7年間を思い、気持ちに寄り添いながら2週間が経過しました。「ふと、今日は行けそうと思って連れ出すと、



↑工務店の定位置で「真面目」に勤務中のロンド(笑)。退勤時間が近づくとソワソワしたりと里江子さんのそばにぴったり寄り添います



→休日は広い公園や河川敷で散歩や大好きなボール遊びをします。写真は以前に行った逗子の海。また訪れるのが楽しみです

→ロンドを囲むのは、右手前から橋之口里江子さん、三男の詠志さん、右奥から長男の侑成さん、夫の泰央さん、次男の太庸さん、長女の朱音さん。散歩など日常のお世話も主に里江子さんと泰央さんが担当です。ゴールデンウィークやお盆休みは家族みんなで出かけます

一緒に歩いてくれたんです。心の動きを感じてとてもうれしかったことを覚えています」。カリテと家族が新しい一歩を踏み出した瞬間でした。カリテが亡くなったときには、あまりの喪失感に一度はボランティアを辞めた橋之口さん一家。しかし、次第にまた犬と暮らしたいという気持ちが強くなり、1年後に2頭目のロンドを迎えます。

素 直で柔軟な性格で、あっという間に家族の暮らしに溶け込んだロンド。「散歩のときは『どこでもついて行きます!』という感じでいつもごきげんです。道路の白線に沿って歩く姿がとてもかわいくて毎日癒やされています」とほえむ里江子さん。散歩の途中に犬好きな夫妻の家に立ち寄るのも日課で、かわいいかわいいなでられる姿は幸せ


そのもの。元気いっぱいじゃれたり、別の犬に構うと「他の子をかかわいがらないでー!」と邪魔をしたり、無邪気で愛らしい一面が見られます。自宅で営む工務店には、ロンドも一緒に出勤します。「出入りする業者さんやお客様も、ロンドに会うのを楽しみにしてくれているんです」と看板犬としての仕事ぶりうかがえるエピソードも。家族はもちろん、地域の人にも愛されるロンドです。

家 族になってもうすぐ2年。心の距離は日に日に近づいていき、今では会話や笑顔の中心にいつもロンドがいます。引退犬ボランティアをしてみて「カリテやロンドが私たちを幸せにするボランティアで来てくれたんだと心から思います」という里江子さん。くいしんぼうで目を輝かせながら食べる姿、言葉を理解しているように思えるところ、朝起こしに来たり、車に乗るのが苦手だったりするところ。「話しきれない!」と笑う様子には日々の楽しさがあふれていました。

スタートライン

Start Line

みなさんのご支援に支えられて新しいパートナーと出会った共同訓練卒業生たち。喜びに満ち、まさにスタートラインに立ったところ



2025年5月までの共同訓練卒業生

- 各ユーザーの紹介項目
- ユーザー名・居住地(盲導犬歴)
 - 盲導犬名(雄♂/雌♀) 犬種
 - ①共同訓練期間
 - ②パピーウォーカー名
- 犬種記号
- LR: ラブラドル・レトリバー
 - GR: ゴールデン・レトリバー

仙台訓練センター

視野も歩幅も広がり積極的に遠出を楽しんでいます

工藤さんは、学生時代に仙台訓練センターで白杖歩行訓練を受けた時、盲導犬に初めて出会いました。その頃は一人暮らしだったこともあって、盲導犬との生活は考えず、しばらくは白杖を使っていました。しかし、杖先を障害物に当たると、音がすることにどうしても抵抗感があったため、盲導犬と歩いてみたいと思うようになりました。

「最初に共同訓練で歩いた時、盲導犬が障害物を避けてくれたり、段差を見つけてくれたりすることで、白杖よりもスムーズに歩いて、とても楽しかったんです。風を切って歩いている感覚もありました」と振り返る工藤さん。1頭目と8年間歩いたのち、この春に2頭目のユーディとの共同訓練を受けました。

初めて会ったユーディとうまく歩けるのか、不安もあって緊張した工藤さんは、左手がガチガチになるほ

ど強くハーネスを握ってしまっユーディの動きが読みづらくなり、右手も振ることができませんでした。「スムーズに歩いているときは、右手もちゃんと振れている」と訓練士からアドバイスを受け、「緊張したときは意識的に手を振ればいい」との気づきが得られたと話します。

そうした共同訓練の成果は、ユーディとの生活を始めてすぐに表れました。「毎朝、1時間の散歩を日課としていますが、歩幅が広くなり、歩く速度も上がった感じです。共同訓練で1頭目との違いに気付いたので、お互いに慣れるのも早い感覚があります」

たとえば日常生活でも、家の中でくつろぐ工藤さんの脚の上にあごを乗せてきたり、横で共に寝転がったり。生活を始めてまだ1か月も経たないうちに、ユーディとの関係が深まったことで、工藤さんは遠出にも積極的になっています。

「コロナ禍の最中は、公共交通機関を利用した外出を控えていました。そ



工藤 侑弥さん
山形県天童市(2頭目)
ユーディ(♂)LR
①2025.4.26~5.7
②三宅 功馬さん

↑「ユーディは歩きにスピード感があってぐんぐん進むのでとても楽しい」と工藤さん。日課の散歩もコースを変えて楽しんでいます

の後も、遠くに行くときは家族に車を出してもらっていましたが、ユーディと歩けるようになったので、自力でバスや電車に乗りたと思いました」

まずチャレンジしたのは、定期的に受診している眼科への通院です。工藤さんが通う眼科は隣の県にあり、長距離バスを乗り継ぐ必要があります。近くのバス停まで徒歩で約10分、バスに乗る時間は片道だけで2時間以上です。ユーディとの共同訓練でそのルートをとったものの、慣れな



←感受性が豊かてマイペースなユーディ。股くくりやおもちゃの引っ張り合いが大好きで、止めないとずっと続けています

い道のりを二人だけで進むのは、決して簡単ではありません。「しばらく利用していなかったため、最初はバス停へたどり着くのも苦労しました。共同訓練のときに訓練士さんから受けたアドバイスを活かしながら何度か練習を重ねた結果、ユーディと眼科を受診できました」

利用するバスは、観光バスのように座席が多くを占めるため、「足元のスペースが狭くてユーディが大変ではと心配でしたが、落ち着いていました」と工藤さんは声を弾ませます。「改めて思うのは、盲導犬と歩くことで視野も行動範囲も大きく広がるということです。それによって、心も豊かになれるというのが実感です。これからユーディと一緒に遠くまで出かけて、いろいろなところを歩きたいと思っています」



梅澤 愛子さん 青森県三戸郡(3頭目)
ヘイル(♀)LR
①2025.3.13~3.26 ②中野 文子さん

ヘイルが「一緒に行こ、行こ」と出かける後押しをしてくれている気がします。排泄も安定しているのも安心です。どこに出かけるのも安心です。まだ慣れずに戸惑うこともあります。お仕事はぼちぼちです。ヘイルは電車やバスが好きなので、電車に乗ってイベントへ出かけたり、バスに1時間くらい乗って、ショッピングセンターに行くこともあります。ショッピングセンターでは、エスカレーターやエレベーターに乗る練習もできます



中嶋 明香さん
仙台市(4頭目)
カルマ(♂)LR
①2025.4.13~4.26
②長尾 浩史さん

カルマを紹介された日の衝撃は忘れません。私が趣味で活動しているボーカルユニット「カルマリング」と同じ名前だったので、まさにカルマ、巡り巡ってきたご縁だなぁ！と驚きました。生活がスタートしてからは自分の好きな時に、好きな場所へ、好きな目的を果たせるようになり、「自由・自立・自信」の3つの宝物を手に入れました。これこそが盲導犬歩行の醍醐味ですね！安全性と安心感もアップして、黒くて大きなラブ君は防犯面でも頼りになります

島根あさひ訓練センター



矢野 健さん
松江市(3頭目)
アリア(♀)LR
①2025.4.21~5.5
②松本 奈美さん

アリアは3頭目のパートナーです。初めての女子ということで幾分の戸惑いがあります。意志がしっかりしているので指示を聞いてもらえないことも幾多です。アリアの定位置は、円形のカーペットハウスですが、「アリア、カム」と何度呼んでもビクリともしません。そこでリードをつないで「アップ」と引っ張ってもなんのその。どうなることやら…と心配も多いですが、これからの期待しつつ、仲良く珍道中をいきたいと思っています

神奈川訓練センター



荒川 明宏さん 香織さん
東京都練馬区(3頭目、2頭目)
ジジ(♂)LR
①2025.2.26~3.10 ②丸橋 剛さん

男の子の盲導犬は約10年ぶり、今までと勝手が違い最初は戸惑いも。共同訓練直後にいろいろな出来事が重なり、ジジ君も新しい生活に慣れるまで時間がかかりました。タンドム[※]で歩く以外に、妻が白杖^{はくじょう}を使って歩き、その後ろを私とジジ君が歩くこともあります。妻が信号で止まるとジジ君がその横に並ぼうとして、私が妻に追突することも。そんなジジ君ですが、得意技はチェア。地下鉄や病院の待合室で空いている席を見つけた時の得意げな感じがとてもかわいらしいです



望月 敏彦さん
東京都あきる野市(5頭目)
クロノス(♂)LR
①2025.4.7~4.18 ②有田 洋右さん

とても甘えん坊なクロノス。家で構うそぶりをするとすぐに「なでて〜」と寄ってきます。そんなクロノスも一歩外に出れば頼れるパートナー、「いくよ!」と風を切って歩きます。最近はクロノスとより息が合ってきて、歩くのが楽しいです。「モビリティリゾートもてぎ」で行われる視覚障害者向けの運転体験にクロノスと久々に行きたいと思っています。盲導犬を後部座席に乗せて運転する人なんて、なかなかいないでしょう?(笑)

山岸 加奈子さん
神奈川県相模原市(3頭目)
ティカ(♀)LR
①2025.3.3~3.14 ②福居 純子さん



愛嬌^{あいぎょう}たっぷりで甘え上手なティカ。大好きな股ぐりはおなかを見せてゴロゴロまでがワンセットです。かわいい上目遣いにみんなメロメロ。ティカとの初歩行は大雨だったけど、混雑する横浜駅の地下街を難なく歩いてくれました。すらっとしてスポーティなティカと一緒に、颯爽^{さつそう}と歩くのが本当に楽しい!先日初飛行機をクリアしたので、次は新婚旅行でも行った石垣島かな?たくさん歩いて、歩いた分だけたくさん思い出を作りたいです

富士ハーネス

杉山 実加さん
静岡県沼津市(2頭目)
ルーク(♂)LR
①2025.2.17~3.3 ②川喜田 一広さん



ルークは仕事に真面目で甘えん坊な、かわいく頼れる男の子。体重の割には、見た目すごくスマートでナイスパディー。平日と祝日は私の仕事場へ、週末は視覚障害者の卓球やブラインドテニス、ときには友達とカラオケなど、あちらこちらにつき合ってくれます。ルークとなら慣れない場所でも行ってみようかなという気持ちになります。先日はディズニーランドと東京ソラマチに行ってきました。ルーちゃんこれから8年間[※]どうぞよろしくね



菊島 巧さん
山梨県都留市(3頭目)
ミラン(♀)LR
①2025.4.7~4.18 ②海北 貴之さん

共同訓練は楽しくて、あっという間でした。これまでのパートナーの3頭は犬種も違い、性格も甘え方も歩く速さもそれぞれで、毎回新鮮です。ミランはとにかく甘えん坊。家では私にべったりで、少し離れるとクンクン言います。外では、ゆっくりと歩くので、歩きやすいです。車が好きなミランとは、家族の運転する車でドライブも楽しんでいます。コロナ禍で遠出ができなかった分、これからは行動範囲を広げ、旅行にも行きたいです

坂田 清さん
富山県高岡市(3頭目)
ジャッキー(♂)LR
①2025.3.10~3.21 ②青木 ゆみさん



最初は、ジャッキーと歩く速さが合わず苦労しました。今では、私の合図で速く歩いたり、ゆっくり歩いたり、歩調が合ってきました。近所の複雑な道も、角や段差をしっかりと見つけます。家では、家族の会話に参加するように、間を行ったり来たりする姿がかわいいです。普段はオンラインで趣味の将棋を楽しんでいます。今年は視覚障害者の将棋大会にジャッキーと参加するつもりです。東京の将棋会館や山形の天童市へも遊びに行く計画です

夏休みの特別イベント

富士ハーネス うるか〜ムDay!



2025年8月9日(土) 10日(日)
日本盲導犬総合センター
「盲導犬の里 富士ハーネス」

参加費無料! 入退場自由! 予約不要!

みなさまに楽しんでもらえる企画を準備してお待ちしています!
お友だちやご家族お誘いあわせの上、ご来場ください。詳しくはこちらから



無理なく、続けられる
NATURALLY PLUS
ナチュラループラス[®]
The Global Healthcare Company

私たちは盲導犬の育成支援・普及活動を通じ、皆さまの健やかな暮らしを応援しています。

株式会社 ナチュラループラス 〒106-6035 東京都港区六本木1-6-1 泉ガーデンタワー35F
TEL 03-6230-3311 FAX 03-6230-3011 URL <http://www.naturally-plus.com>

intage
Know today. Power tomorrow

株式会社インテージでは、アンケートモニターの皆さまの善意により、謝礼の一部を日本盲導犬協会に寄付させていただいております。

株式会社インテージ <http://www.intage.co.jp/>

キューモニター募集 <https://www.cue-monitor.jp/>

動画配信中 「盲導犬新ユニット出発式」

2023年度中に新たな盲導犬を迎えたユーザーが、盲導犬と歩く喜びや、日々の楽しみなどを語っています。公式YouTubeチャンネルへ

※タンドム：1頭の盲導犬を2人で使用する歩行方法

※8年間：盲導犬として活動できる期間は2~10歳の8年間が標準

心がふれあう

Heart to Heart

視覚障害や盲導犬について理解を深め
盲導犬ユーザーが生き生きと
安心して暮らせる社会を目指して
心のバリアフリーを広げる活動を紹介します

「多くの人々の心が豊かになるように」 サニクリーンが事業のつながりを活かして支援継続20年へ



支援事業担当の営業サポート本部販売促進室のみなさん。中央には水や森をモチーフにした企業公式キャラクター「サニエル」

清掃用具のレンタル事業を展開する株式会社サニクリーンは、2006年から当協会を通じて盲導犬の育成をはじめとした視覚障害者の支援を行っています。1940年にハワイで設立されたデイベンロイエンタープライズを前身とし、1960年に創業。今では日本全国に約650拠点を持ち、グループ約6,800人の従業員で事業を推進しています。

● 広く視覚障害者を支える ● 協会の取り組みに感銘

同社の社会貢献活動は当初、自然保護団体のみが対象でした。ほかに何かできないかと考えていたところ、当時の担当者が映画『盲導犬クイールの一生』を鑑賞、さらに通勤電車で盲導犬ユーザーの姿を見て感銘を受け、視覚障害者への関心を高めていきました。協会が視覚障害リハビリテーションにも力を入れている点に注目して「盲導犬育成だけでなく大きな意味で視覚障害者のサポートを行っている」と深く共感。街頭での募金活動、商業施設や小学校での理

解促進活動など、協会職員が真摯に取り組む姿を実際に見てその思いに触れ、協会への支援開始に至りました。

● 支援内容は多岐にわたり ● 協会やユーザーへ取材も

サニクリーンの支援活動はさまざまな場面で当協会の大きな支えとなっています。同社は2006年から協会の法人賛助会員を継続、事業拠点への募金箱設置など資金面の支援のほか、協会主催の盲導犬育成チャリティゴルフ大会時や各種イベント出展の際には、来場者誘導などのボランティアも行っていきます。

また、10年ほど前からは、同社サイト『未来応援プロジェクト サニエル』やSNS上で当協会の活動を紹介しています。担当者が協会の各訓練センターや東京事務所を訪問。盲導犬育成やケアの現場をはじめ、盲導犬とユーザーの新生活への節目である「出発式」、子供たちを訪問する「盲導犬小中学校キャラバン」なども取材し、記事掲載は11回に及びま

した。取材を続けるなか、協会のユーザーでパラトリアスロン選手の中澤隆さんに話を聞いた担当者は「外見からは視覚障害があることを理解されにくい状況でも、謙虚に冷静に前向きに歩む姿勢が印象的で、支援への思いを強めました」

● もっと多くの社員を ● ボランティア活動に

担当者は「今後は、弊社が築いてきたつながりを活かし、人々の心が豊かになるような支援を展開していきたい」と話します。各地で地域に根ざした事業展開を行う同社は、視覚障害者支援でも地域ごとに独自の活動があり、たとえば、山陰山陽地域を活動エリアとするサニクリーン中国では、社員自ら取引先にラブラドル募金箱の設置をお願いする活動に取り組んでいます。創業から65年、グループ全体で積み上げてきた地域ネットワークを活かし、サニクリーンは社会貢献活動でも大きな支援の輪をつくっていく意向です。「慈善活動をしたと考えている社員は多いと思う。そういう思いをもった社員が関わりやすいような支援機会を創出しよう、と始めたことなので全力で続けていきたいです」

さらに「視覚障害者支援を力強く進める協会の活動に関わることができてうれしい。これからはボランティア活動にもっと多くの社員が参加できるようにと考えています。支援をする側とされる側の垣根を取り払い、理想とする社会と一緒に目指したい」と未来を語ってくださいました。

生まれました

2025.4.26 誕生

オス 5頭
メス 2頭
父犬マルセル(LR)※×
母犬オプティ(LR)

※イギリスの盲導犬育成団体(GDBA)からの凍結精液を使用した人工受精

2025.5.23 誕生

オス 6頭
メス 3頭
父犬アンバー(LR)×
母犬コニィ(LR)

2025.5.19 誕生

オス 3頭
メス 3頭
父犬エデン(GR)×
母犬フェアリー(GR)

2025.5.1 誕生

オス 5頭
メス 3頭
父犬ヴァルニー(GR)×
母犬イルア(GR)

みなさんに 支えられて

3月11日～6月10日

犬種記号
LR/ ラブラドル・レトリバー
GR/ ゴールデン・レトリバー
AL/ オーストラリアン・ラブラドル

引退しました

犬名・性別	ユーザー名	ボランティア名	引退日
アルタ♂	梅澤 愛子さん	武田 孝子さん	2025.3.13
エール♂	今野 琢さん	大友 美和さん	2025.3.16
エディー♂	望月 敏彦さん 望月 操さん	太田 三保子さん	2025.4.7
ドビー♂	菊島 巧さん	三浦 恵子さん	2025.4.7
ハイル♂	山岸 小百合さん	若井 むつ美さん	2025.4.8
マイム♂	中嶋 明香さん	佐藤 利美さん	2025.4.13
ジェニー♀	村上 隆さん	—	2025.4.16
ハダル♂	矢野 健さん	調整中	2025.4.21
フォルテ♂	工藤 侑弥さん	調整中	2025.4.26
ガレット♀	穂刈 美奈子さん	塩原 隆さん	2025.5.16
シャイン♀	田部 博也さん	調整中	2025.5.16
ベリー♀	落合 真智子さん	弘中 孝典さん	2025.5.26
レンジャー♂	小野 良文さん	調整中	2025.5.26
ジャック♂	吉川 勝彦さん 吉川 日出子さん	調整中	2025.5.13 2025.5.28

亡くなりました

犬名・性別	ユーザー名	ボランティア名	死亡日
ハイネ♀	蛭田 友子さん	瀧沢 裕さん	2025.3.12
ヴェガ♀	高橋 恵美子さん	大内 崇さん	2025.3.14
モナミ♀	難波 創太さん	井口 冬生さん	2025.3.16
オレア♂	佐藤 倉一さん	関 浩さん	2025.3.30
レイ♂	石田 聡さん	島津 信行さん	2025.4.1
グラッド♂	早乙女 松勇さん	市川 和佐さん	2025.4.11
ラグ♂	伊藤 一彦さん	西山 睦さん	2025.4.28
ウール♀	繁殖引退犬	生駒 順一さん	2025.4.29
グリーン♀	岡野 宏治さん	押村 和孝さん	2025.6.3
ウララ♀	奥山 三代子さん	奥山 和男さん	2025.6.7
ユニ♂	赤塚 セツさん	古俣 伸子さん	2025.6.9

委託しました

父犬マウイク(AL)※3×母犬シェール(AL)※3	父犬クレイマー(LR)※1×母犬ヴィセ(LR)
ワルツ♀ 茶珍 啓一郎さん	テオ♂ 大藪 治夫さん
ウィン♂ 佐藤 昭平さん	
父犬アンバー(LR)×母犬テネシー(LR)	父犬エビス(LR)※2×母犬ジェニファー(LR)
ベゼル♀ 鳥海 孝司さん	ヤックル♂ 今井 智美さん
ベンジー♂ 木樽 栄さん	ユーワ♂ 大谷 亜由美さん
ブルーム♂ 赤石 隆太さん	イヴ♀ 香野 慎弥さん
ピンゴ♂ 落合 京子さん	ユッカ♂ 丸橋 剛さん
ピオ♀ 山岸 直子さん	ユパ♂ 浦上 美保さん
ブランディ♂ 坂本 みどりさん	父犬ユーボー(LR)×母犬ハイジ(LR)
バジル♂ 桑木 聡さん	アーサー♂ 小田切 清人さん
※1アメリカの盲導犬育成団体(GEB)からの凍結精液を使用した人工受精	アコ♀ 本宮 透雄さん
※2北海道盲導犬協会	アルマ♀ 鈴木 弘子さん
※3レイクウッズガーデン	アネット♀ 村上 裕子さん
	アミ♀ 芹生 明さん

盲導犬育成状況

合計頭数…699頭(2025年7月1日現在)

委託前パピー	15頭	繁殖犬	41頭
パピー	84頭	PR犬	12頭
訓練犬	70頭	引退犬	193頭
盲導犬	221頭	繁殖引退犬	63頭

みなさんと協会をつなぐ

ハーネスひろば

みなさんから届いたメッセージや協会からのお知らせなどを紹介します



毎回『盲導犬くらぶ』の緻密さに感動しています。118号ではユーザーの関さんと盲導犬エルマーのお話が印象的でした。「楽しいときはガンガン歩く、気が乗らないときはテクテク歩く」という表現から、エルマーの感情が伝わってきましたし、それをハーネス越しに感じる関さんもすばらしいなと思いました。また、子供向け書籍『盲導犬大百科』の発刊にも興味をもちました。本好きな私には、ぜひ手に取ってみたい一冊です。次に書店へ行った際には、この本を探してみます。 **松山市 Y.Nさんより**

『盲導犬くらぶ』の感想やご意見をお待ちしております。

●あて先
公益財団法人日本盲導犬協会
盲導犬くらぶ編集室
〒150-0045
東京都渋谷区神泉町21-3-3F
FAX:03-5452-1267
e-mail: info@moudouken.net

●イベント情報はホームページやSNS上に掲載しております。



↑ ホームページ



↑ X

編集室より

5月28日、神奈川訓練センターにて、火災を想定した職員全員参加での消防・防災訓練を実施しました。同センターは犬舎棟、医療・繁殖棟、訓練棟の3つの棟に分かれています。今回は犬舎棟と医療・繁殖棟が増改築されて初めての訓練ということで、新しい避難経路で安全かつスムーズな移動を行えるかどうかを、実際に犬も一緒に動きながら確認しました。また、今回は訓練内容を各棟にリーダーを決めて現場指揮を執る形に変更。これにより、万が一、センター長が統轄する本来の指揮系統と連携が取れない

事態になっても、迅速に対応できる体制を目指します。

現在工事中の訓練棟も秋には完成します。

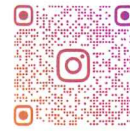
今後も全棟含めて安全かつ速やかに対応ができるよう、より安全対策を強化していきます。

◀避難訓練では実際に各犬室から全頭を避難。人と犬の安全確保、最短経路での避難を意識して行いました



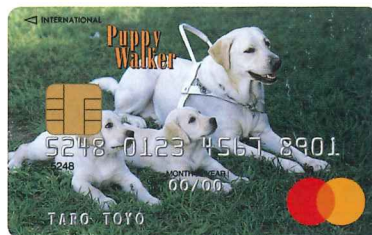
お知らせ

日本盲導犬協会のInstagramを開設しました！私たちの活動や盲導犬について、みなさんに知ってほしいさまざまな情報をFacebook等と連携しながらお届けしていきますので、ぜひフォローをお願いします。



JGDA_GUIDEDOG
↑ Instagram

わかさ生活は盲導犬の育成を応援しています



パピーが愛をいっぱい受けた盲導犬に育てもらうために

パピーウォーカーカードをご利用いただくと、ご利用額の0.5%が寄付にあてられ、盲導犬の育成普及をはじめとする視覚障害者福祉のために役立てられます。

株式会社オリエントコーポレーション

〒102-8503 東京都千代田区麹町5丁目2番地1オリエントビル 詳しくはQRコードをアクセス⇒

